

# S-2 総合演習2

大学セキュリティ運用検討小委員会

# このセッションの目標

B-2,S-1セッションの成果を踏まえて、大学ガバナンス層にとって必要なセキュリティ運用の要素をまとめる



全学でセキュリティ対策意識を醸成し、社会的責任を果たすための体制・取り組みへの方向性を持つことができるようになる

# 4つの視点

- サイバー攻撃の脅威や危機意識の共有化を推進
- 学内ルールの構築
- 委員会による防御体制と点検
- 教育や模擬訓練の実施

# 1. サイバー攻撃の脅威や危機意識の共有化

- 理事会でサイバー攻撃の防御を全学的な課題として捉える
- 担当役員を配置
- 構成員の意識の持続化と振り返りの仕組み
- 全学的な取り組みについて見直し・改善する仕組み

## 2. 学内ルール of 構築

- 最小限度の行動基準に関するガイドラインを作成
- 情報資産別に防御の仕方を共有
- SLAにセキュリティ要件もふくめる
- 被害の拡大を防ぐためにネットワークの切断などの緊急時の対応について予め定めておく

### 3. 委員会による防衛体制と点検

- 担当役員による統括責任者の配置
- 情報セキュリティ委員会を設置
  - 全学的な取り組み対策のとりまとめ
  - 点検・評価のガイドライン
- 情報センター等部門の役割と権限の強化
  - 防衛行動の働きかけ
  - 緊急対応

## 4. 啓蒙教育や模擬訓練の実施

- 担当役員による全学的な呼びかけによる危機管理研修の必要性
- 緊急時の対応知識の活用を模擬訓練
- 不審メール見極めや被害の拡散を防ぐための対応として速やかな報告も訓練